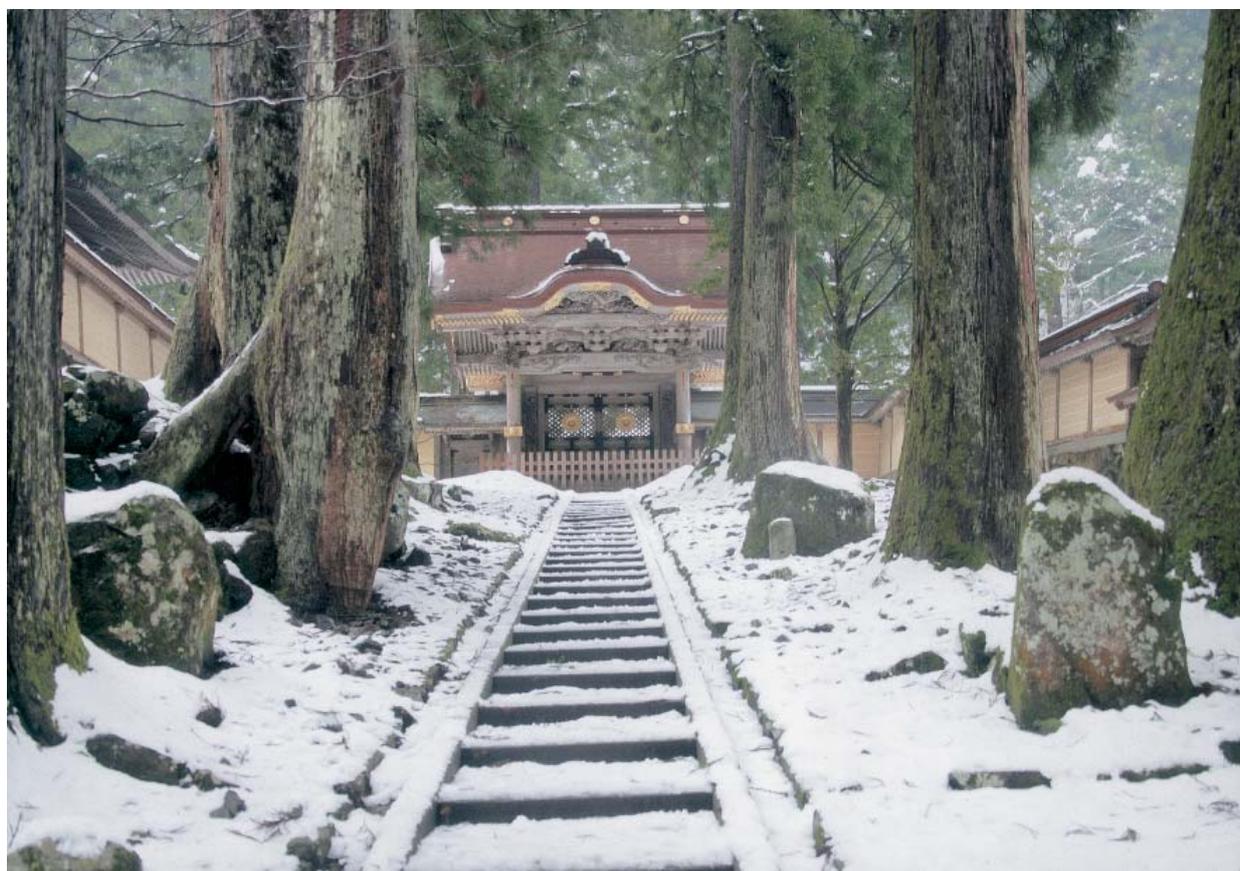


福 井 県 医 師 会

だより

第631号 平成26年(2014)1月

新 春 特 集 号



雪の永平寺 福井市 吉村 信

表紙写真説明：雪の永平寺

福井市 吉村 信

雪の早朝、永平寺を訪れた。勅使門は朝日に輝き、杉の巨木の梢より時折落ち来る淡雪の小塊の立てる、「カサッ」という密やかな音以外は、静寂そのものの世界であった。朝霧の立ち籠める杉木立の境内には一種の霊気すら漂っているように思われた。

雪降りて 聖廟清し 杉木立

新年のご挨拶

福井県医師会長 大中正光

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、ご家族・職員お揃いで決意を新たに良き新年をお迎えるのことに謹んでお慶び申し上げます。

社会保障給付費は昨年度・予算ベースで110兆円を超え、2025年度には150兆円に迫ると推計され、財源確保の議論が進んでいる。いよいよ、消費税が今年4月に8%、来年10月には10%と増税を迎えることになります。値上げ分はすべて社会保障費に充てられるとのことですがわかりません。年末に、自民党の税制調査会は(2014税制改正大綱案)で、10%時点で軽減税率を導入すると決定しましたが、其の対象品目は不明のままである。診療報酬に対する消費税はさて、どうなるのか？

超党派の国会議員による「国民医療を守る議員の会」が昨年11月19日にホテルニューオータニで開かれ、その時、都道府県医師会代表も出席した。200名あまりの国会議員が朝早くから出席されていたが、其の日は参議院での「特定秘密保護法」の採決があり、参議院の皆さんは途中退席された。福井県の国会議員は山本拓さんが出席され、私の席まで挨拶に来られた。日医の横倉会長は、医療政策の判断基準は「国民の安全な医療に資する政策か」、「公的医療保険による国民皆保険は堅持出来る政策か」であると説明し、そのためには、1)「過度の規制緩和への懸念」、2)「医療と介護が共同する地域包括ケア体制の整備の必要性」、3)「次期診療報酬改定に対する要望」を主張した。

薬事法改正にて市販薬99.8%のインターネット販売が決まった。其の時、規制改革会議の民間議員楽天の三木谷さんが、パーフェクトでないと、一時、議員辞退のパフォーマンスを演じたが、彼らの最終の目標は「処方箋薬

のインターネット販売である。我々医師は医療安全と格差医療の防止に精力を注いでいるのであるが、三木谷さんは(インターネットが一番安全であると)言った。その直後に、インターネット楽天上でインチキが報じられたのである。

団塊の世代約660万人が全て75歳を迎える2025年・超高齢化時代に向かって、医療法改正にて医療提供体制が、(高度急性期)、(急性期)、(回復期)、(慢性期)の四つの病床機能への分化が議論され、また、医療〈在宅医療など〉と介護による地域包括ケア体制の確立が進められようとしている。坂井地区医師会のこの方面の取り組みはモデル事業として注目されている。

いよいよ、地域医療再生基金による[ふくいメデイカル・ネット]が4月から運営が開始される。約3年の準備がかかり、試行錯誤がくりかえされた。その間の県健康福祉部と県医師会担当理事末松先生や多くの運営部会委員の先生方の御努力に感謝申し上げます。最終的には14の開示病院と170閲覧医療機関にてスタートすることになった。運営には決して安価でない運営費が各医療機関に賦課されるが、県内全域を網羅する医療情報連携システムという意味では全国で初めての試みであり、日本医師会でも注目されている。多くの福井県の患者さんにとって有用な医療情報連携となることを祈っています。

診療報酬改定を本年4月に迎える。消費税8%の値上げ時点ではこれまで通り診療報酬の中で対応するが、本体部分に関しては、財務省はしきりにマイナス改定であると主張を繰り返している。また、健康保険法において診療と薬剤は不可分一体のものであるにもかかわらず、薬

価の引き下げ分を診療報酬の改定の財源に使うべきでないとも主張している。小泉内閣の3回のマイナス改定による地域医療崩壊を繰り返してはいけない。診療報酬のプラス改定は地域医療の必要経費である。様々な「日医」と「国民医療を守る議員の会」との連携で、年末に閣議決定された予算基本方針の中で〈抑制〉という文字が消された。

医師会館の新館建設が進行している。4月には建築業者の入札を行い、5～6月には別館を除いて本館の取り壊しが行われる予定である。

新年が県医師会員皆様方とご家族並びに従業員の皆様と、また、福井県民の皆様方にとって素晴らしい年でありますように願っています。今後とも、県医師会の事業運営に全幅の御協力をお願い申し上げます。

謹 賀 新 年

福 井 県 医 師 会

平成26年 元旦

副 議 監
議 長 “ 事
長 長

理 副 会
事 “ 会 長
事 長 長

汐吉 榊 奥 腰 新 芳 月 吉 木 伊 廣 小 越 荒 安 貴 坪 柏 野 辻 宇 広 末 池 奥 大
見 村 原 村 地 谷 野 岡 田 水 部 瀬 林 野 井 原 志 川 原 村 治 瀨 松 端 村 中
俊 光 一 良 孝 拓 佳 幹 正 晃 龍 達 雄 正 修 洋 俊 謙 元 哲 行 真 哲 幸 雄 正
一 生 郎 二 昭 也 克 雄 美 潔 裕 吉 治 祐 雄 郎 一 仁 悟 積 朗 雄 紀 男 彦 外 光